

“幼青老の共生”を目指して…

ウチヤマグループの理念と哲学の実践型経営

2016年12月



東証1部 証券コード 6059



- 
- I. 事業の概要** P2~
 - II. 2017年3月期の予想及び株主還元** P16~
 - III. 新中期経営計画の進捗状況** P19~
 - 【参考資料】** P30~



I. 事業の概要



1. プロフィール

| | |
|--------|---|
| 社名 | 株式会社ウチヤマホールディングス |
| 本社 | 福岡県北九州市小倉北区熊本2-10-10 |
| 設立 | 2006年10月（前身は1971年6月） |
| 代表者 | 代表取締役社長 内山 文治 |
| 連結従業員数 | 正社員1,887名、パート・アルバイト等2,440名 合計4,327名（2016年9月末） |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none">● 介護事業● カラオケ事業● 飲食事業● 不動産事業● その他（ホテル） |



2. 当社グループの歩み

Foundation: 不動産事業の開始

1971年 6月 不動産の販売、賃貸管理を目的として福岡県北九州市小倉北区に内山ビル株式会社を設立

カラオケ事業スタート

1991年 4月 福岡県北九州市八幡西区にカラオケボックス1号店『コロッケ倶楽部黒崎店』を開店

飲食事業スタート

1995年 11月 福岡県北九州市小倉北区に飲食事業1号店の居酒屋『酒膳房然』を開店

介護事業スタート

2003年 4月 介護付有料老人ホーム及びデイサービスの併設施設「さわやかパークサイド新川」を福岡県北九州市戸畠区に開所

2004年 12月 介護部門を新設分割し、福岡県北九州市小倉南区に株式会社さわやか倶楽部を設立

2005年 11月 株式会社コウノを存続会社として関連会社6社を吸収合併し、株式会社ボナー（現 株式会社ボナー）に商号変更

Constitution: ウチヤマホールディングス設立

2006年 10月 福岡県北九州市小倉北区に株式移転により、株式会社さわやか倶楽部、株式会社ボナーの持株会社として株式会社ウチヤマホールディングスを設立（資本金285百万円）

2008年 7月 株式会社さわやか倶楽部にて、ホテルと住宅型有料老人ホームの併設施設『さわやかハートピア明礬』を開所

2010年 5月 株式会社さわやか天の川にて、大阪府枚方市に介護付有料老人ホーム『さわやか枚方館』を開所

Further growth: 上場

2012年 4月 大阪証券取引所（現 東京証券取引所）JASDAQ市場（スタンダード）に株式を上場

2013年 12月 東京証券取引所市場第2部へ市場変更

2014年 8月 タイ王国にボナータイランドを設立

2014年 9月 東京証券取引所市場第1部指定

2014年 11月 タイ1号店「かんてきやスクンビット店」オープン

2015年 11月 障がい児通所支援事業 放課後等デイサービス「さわやか愛の家」を開所

2016年 9月 訪問看護事業「さわやか訪問看護ステーション八幡」を開所



3. 経営理念と哲学

ウチヤマグループ 基本理念

慈愛の心

尊厳を守る

お客様第一主義

ウチヤマグループ スローガン

幼青老の共生

幼年～青年～老年、共に楽しく過ごせる
社会作りを目指します。

「日本一の接遇とオペレーション」
を目指す

～Give and Give～

● ● ● ● 4. 社会貢献

常に「社会貢献」を重視した経営を推進

- 地震被災者の施設での受け入れ
(福岡西方沖地震、東日本大震災、熊本地震)

- 世界の子どもたちの支援
(チャイルドスponサー・ラオスでの小学校建設)

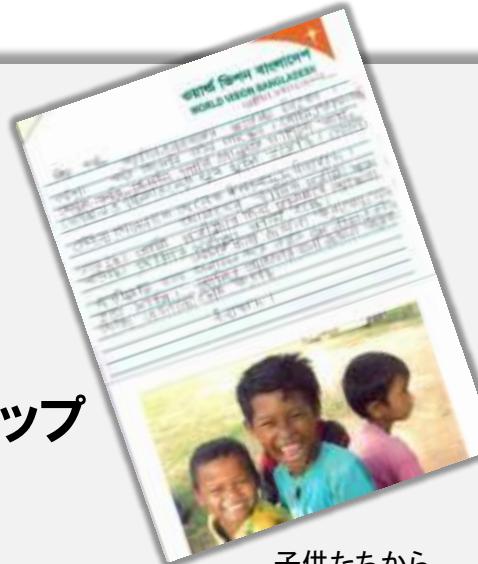
- NPO法人テラ・ルネッサンスとのタイアップ
(アフリカの元子供兵の社会復帰活動支援)

- ホームレスへの炊き出し

- 緊急雇用支援対策

- 著名人による特別講演会の主催
(1999年より過去24回実施)

⇒ 渡部昇一氏(2016年)、金美齡氏(2015年)、櫻井よしこ氏(2014年)、
茂木健一郎氏(2013年)、安倍晋三氏(2012年)、五木寛之氏(2011年)、
鎌田實氏、日野原重明氏など



子供たちからの手紙



福岡西方沖地震被災者の施設受入



ラオスでの小学校建設

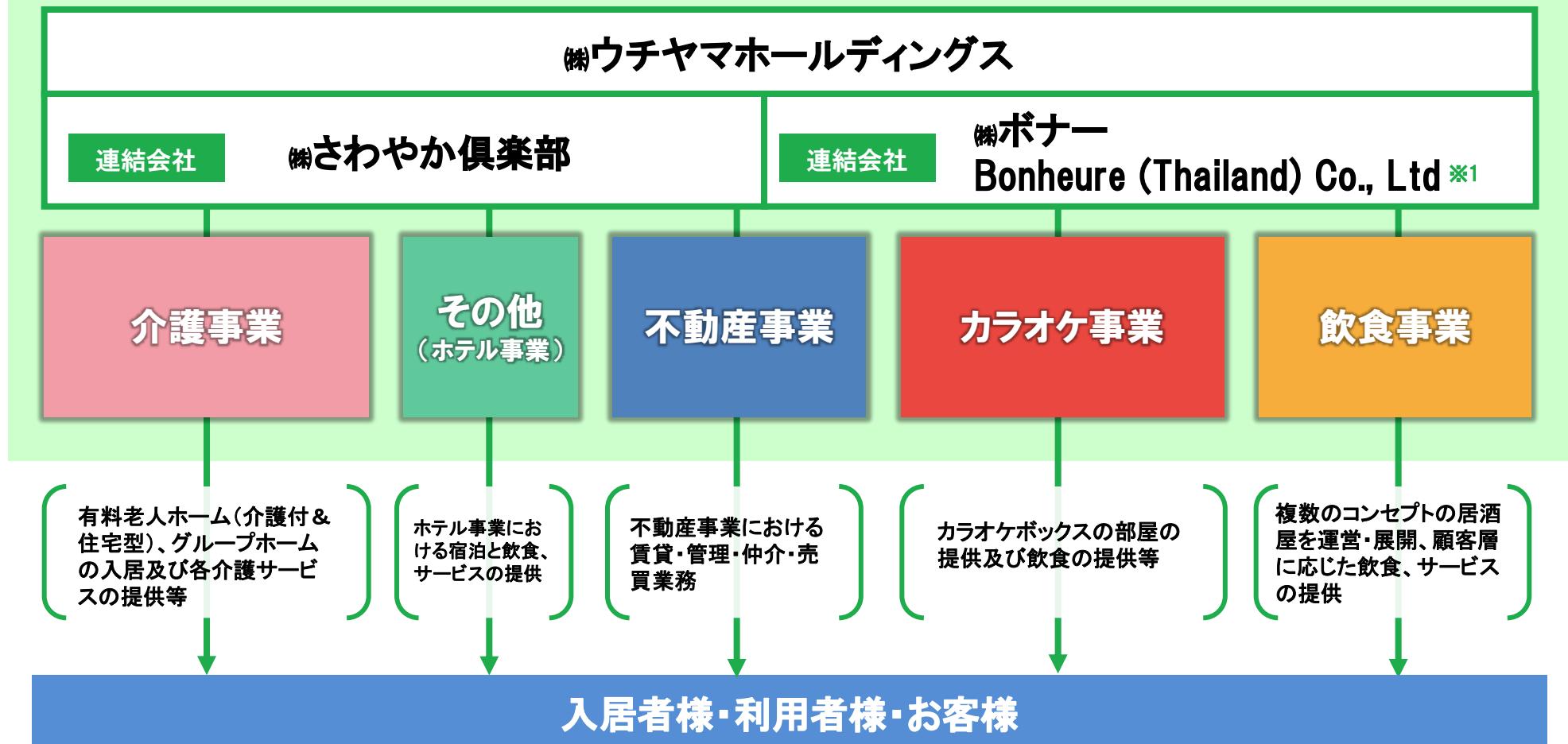


特別講演会の主催
UCHIYAMA HOLDINGS INC.



5. ウチヤマグループの概要

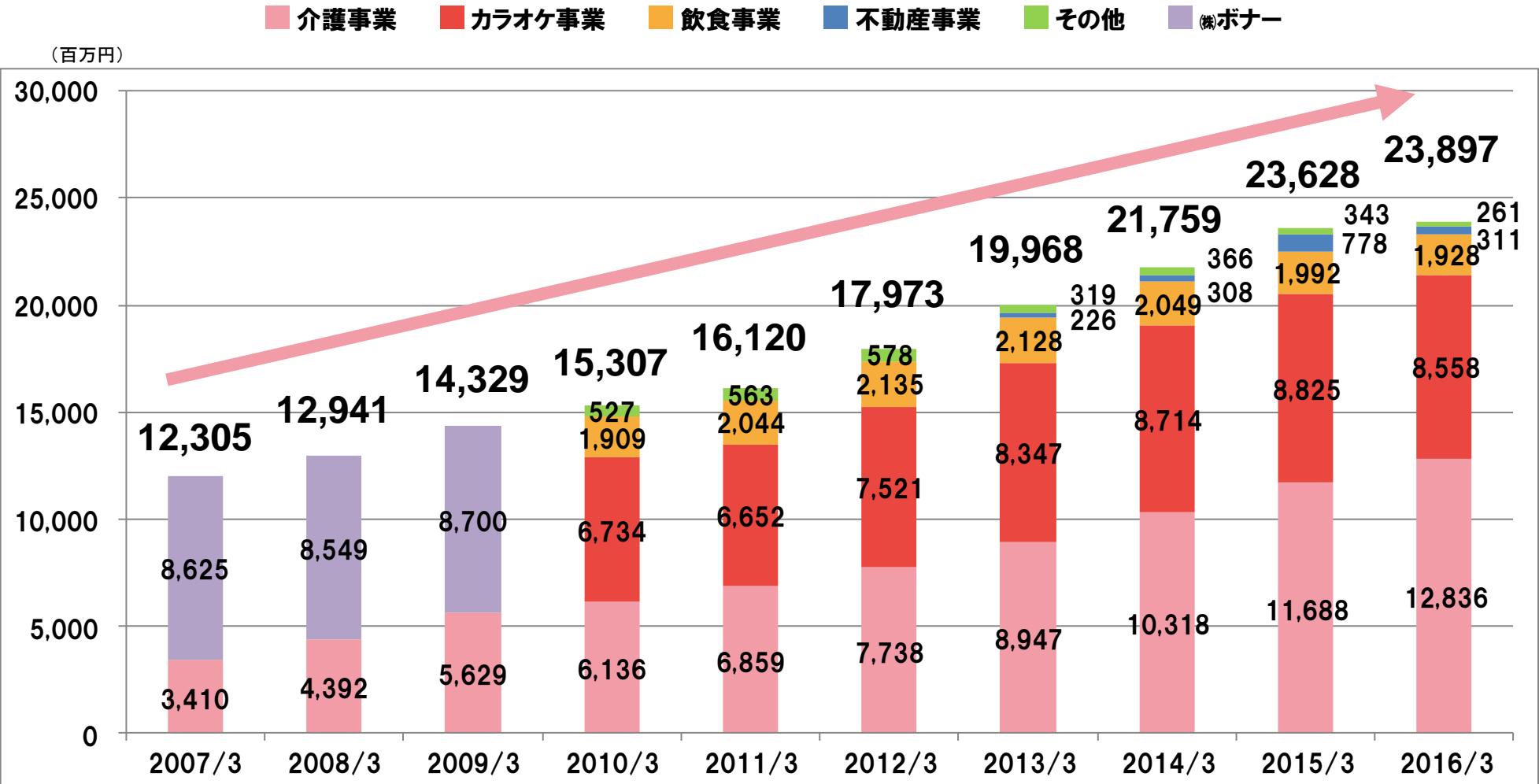
持株会社体制（2006年10月～）



※1: Bonheure (Thailand) Co., Ltdは、当社連結子会社の株式会社ボナー出資(49%)のタイにおける合弁会社。



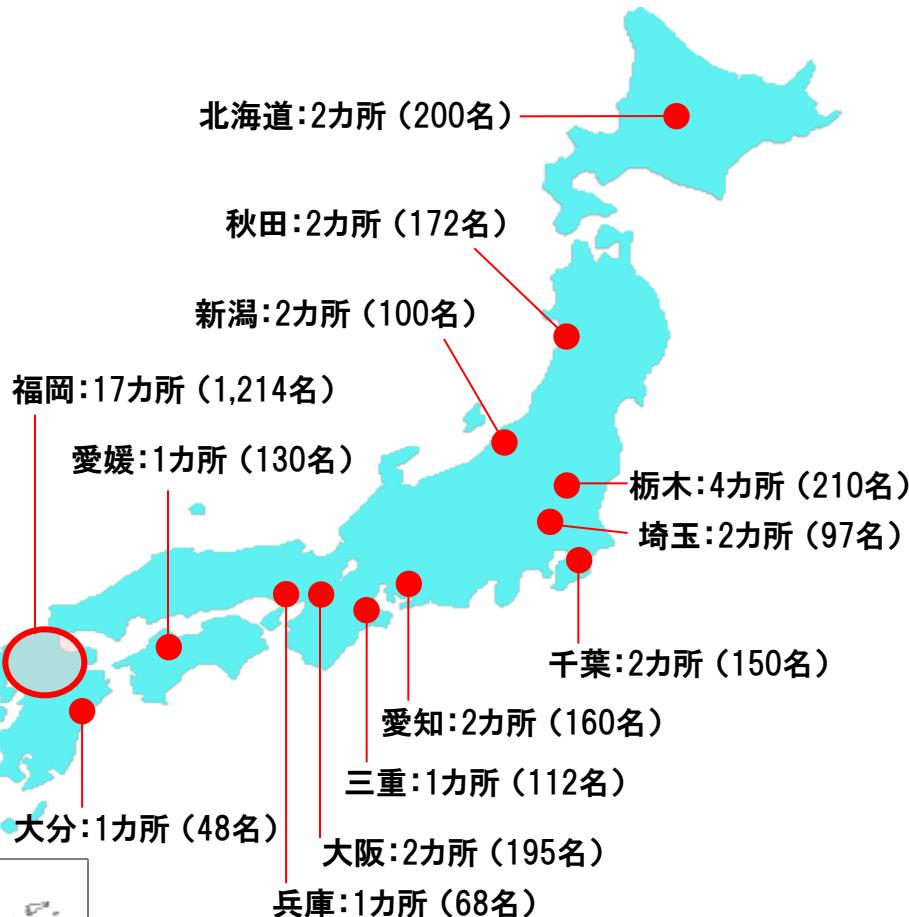
6. 事業別の売上高推移（連結）





7. 事業概要と特長 ①介護事業の展開状況

介護付有料老人ホームの展開状況（2016年9月末現在）



介護付有料老人ホーム以外の展開状況（2016年9月末現在）

- ◎: 住宅型有料老人ホーム
- : グループホーム
- ◇: デイサービス
- ▽: 障がい児通所支援事業放課後等デイサービス
- △: 小規模多機能型居宅介護
- : サービス付き高齢者向け住宅

- 【福岡】
- ◎: 11カ所 (615名)
 - : 9カ所 (142名)
 - ◇: 17カ所 (435名)
 - ▽: 4カ所 (40名)
 - △: 4カ所 (100名)
 - : 1カ所 (103名)

- 【新潟】
- ◎: 1カ所 (39名)
 - ◇: 1カ所 (15名)

- 【北海道】
- : 1カ所 (18名)

- 【栃木】
- : 1カ所 (18名)

- 【千葉】
- : 1カ所 (100名)

- 【愛媛】
- ◇: 1カ所 (15名)

- 【京都】
- ◎: 1カ所 (84名)
 - ◇: 1カ所 (24名)

- 【大分】
- ◎: 2カ所 (86名)

●●●●▶ 7. 事業概要と特長 ②関東エリアの施設

<<埼玉県>>



さわやかいわつき館
◆介護付有料老人ホーム
埼玉県さいたま市岩槻区
加倉4-21-30
TEL:048-790-2800

<<千葉県>>



さわやかおおみや館
◆介護付有料老人ホーム
埼玉県さいたま市西区内野
本郷1082-1
TEL:048-788-2499



さわやか成田館
◆介護付有料老人ホーム
〒286-0045
千葉県成田市並木町142-28
TEL:0476-20-0025



さわやか柏館
◆特定施設指定
サービス付高齢者住宅
千葉県柏市南逆井2-14-41
TEL:04-7171-1400

<<栃木県>>



さわやかすずめのみや
◆介護付有料老人ホーム
◆ショートステイ
栃木県宇都宮市若松原2-18-26
TEL:028-688-3337



さわやかグループホームなすまち
◆グループホーム
栃木県那須郡那須町
大字寺子乙3967番21
TEL:0287-73-5223



さわやかかぬま館
◆介護付有料老人ホーム
栃木県鹿沼市寺町914番1
TEL:0289-77-7400



さわやかさの館
◆介護付有料老人ホーム
栃木県佐野市堀米町3261-1
TEL:0283-25-8666



さわやかなすしおばら館
◆介護付有料老人ホーム
栃木県那須塩原市西朝日町3-4
TEL:0287-48-7155

●●●●▶ 7. 事業概要と特長 ③介護事業のオペレーションと入居率

業界トップクラスの高オペレーション(運営)効率

高いオペレーション効率

【看護・介護職員1人当たり利用者数】

●当社 2.5~2.7人

●特定施設事業者平均 2.2人

(出所) 厚生労働省「介護保険事業状況報告(平成26年度版)」

堅調な入居率

【特定施設入居率】

●当社(2016年4~9月平均) 93.0%

●当社(2015年4~9月既存施設平均) 91.8%

働きやすい
施設構造

満足度の高い
ホスピタリティ

*年間500時間の研修・勉強会
を実施

入居・退居が
しやすいシステム

*施設への入居一時金不要

入居者様・家族の
口コミによる
さわやかブランドの
浸透

全国の約5,000事業所が参加する「第六回介護甲子園」にて、
福岡市にある「さわやか立花館」が決勝進出の5事業所に選ばれました。

●●●●▶ 7. 事業概要と特長 ④介護事業の生きがいづくり

高齢者を高齢者として扱うのではなく、「生きがいづくり」をポイントに
「入居者様・お客様が主役」の考え方方に立ち
入居者様が積極的に運営やイベントに参加するスタイルを追求



活力朝礼



毎月のお誕生日会



ハンドベル演奏会



笑顔コンテスト



見学者のご案内



栽培・収穫



盆栽教室



スナック もいちど

7. 事業概要と特長 ⑤カラオケ事業

基本的な特長

- 1店舗当たりのボックス数は30室程度
- 多くの店舗が「24時間営業年中無休」
- カラオケは常に最新機種を装備
- 明るい雰囲気、安心感、安全性
- 豊富な食事メニュー
- シニア層向けの割引サービスを実施

高齢者向けのサービスを更に拡充

- さわやかゴールドメンバーカード
(65才以上のシニア層を対象に
プレミアム特典付きのカードを発行)

一般会員+アプリ会員
1,717,798名

ゴールド会員
51,267名

2016年9月末現在

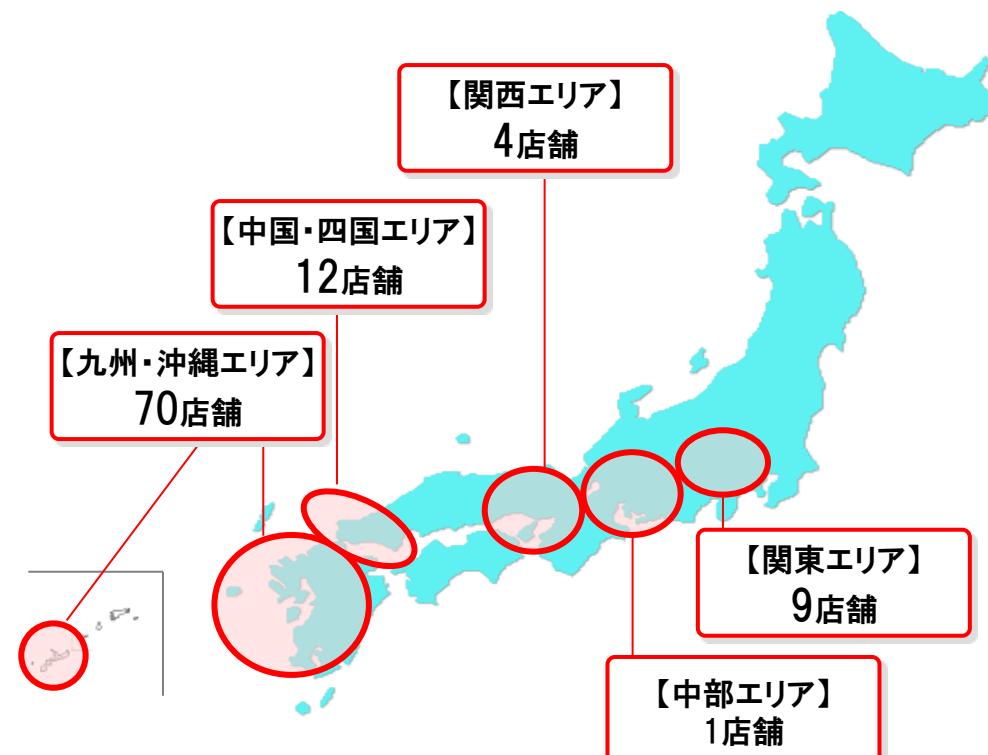


さわやかモーニングパック

午前6時～12時の
最大6時間カラオケ
歌い放題の朝食セット
平日690円



カラオケ事業の展開状況 合計96店舗 (2016年9月末現在)



●●●●▶ 7. 事業概要と特長 ⑥カラオケ事業 近隣店舗

<<東京都>>

コロッケ俱楽部 浜松町店

港区浜松町2-1-1 No.R hamamatsucho

営業時間: 日～木・土・祝日11:00～翌朝5:00
/金・祝前日11:00～翌朝8:00/年中無休

コロッケ俱楽部 新橋店

港区新橋3-6-2 新橋SHビル

営業時間: 24時間営業 年中無休

コロッケ俱楽部 歌舞伎町店

新宿区歌舞伎町1-21-12

営業時間: 24時間営業 年中無休

コロッケ俱楽部 成増店

板橋区成増2-17-24 五曠第6ビル2階

営業時間: 24時間営業 年中無休

コロッケ俱楽部 新橋本店

港区新橋2-18-3 日興産業ビル

営業時間: 17:00～翌6:00 年中無休



コロッケ俱楽部 浜松町店



コロッケ俱楽部 新橋店



7. 事業概要と特長 ⑦飲食事業

主要ブランド





II. 2017年3月期の予想及び株主還元



1. 2017年3月期 連結業績予想

(単位:百万円)

| | 前期(2016/3) | | 通期予想(2017/3) | | 前期比 | |
|-----------------|------------|--------|--------------|--------|---------|-------|
| | 金額 | 百分比(%) | 金額 | 百分比(%) | 増減額 | 率(%) |
| 売上高 | 23,897 | 100 | 25,618 | 100 | 1,721 | 107.2 |
| 営業利益 | 128 | 0.5 | 898 | 3.5 | 770 | 697.8 |
| 経常利益 | 324 | 1.4 | 907 | 3.5 | 583 | 279.5 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 983 | 4.1 | 614 | 2.4 | △ 369 | 62.5 |
| 1株当たり純利益(円) | 46.11 | - | 30.77 | - | △ 15.34 | - |
| 1株当たり配当金(円) | 10 | - | 10 | - | 0 | - |





2. 株主還元

配当金について

| | 第2四半期末 | 期末 | 合計 | 連結配当性向 |
|--------------|--------|----|-----|--------|
| 2013年3月期（実績） | 5円 | 5円 | 10円 | 13.2% |
| 2014年3月期（実績） | 5円 | 5円 | 10円 | 8.8% |
| 2015年3月期（実績） | 6円 | 5円 | 11円 | 18.4% |
| 2016年3月期（実績） | 5円 | 5円 | 10円 | 21.7% |
| 2017年3月期（予想） | 5円 | 5円 | 10円 | 32.5% |

注：当社は、2011年12月7日付で普通株式1株につき5株の割合、2014年1月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。
上記表では、これら株式分割を遡及し、調整しております。

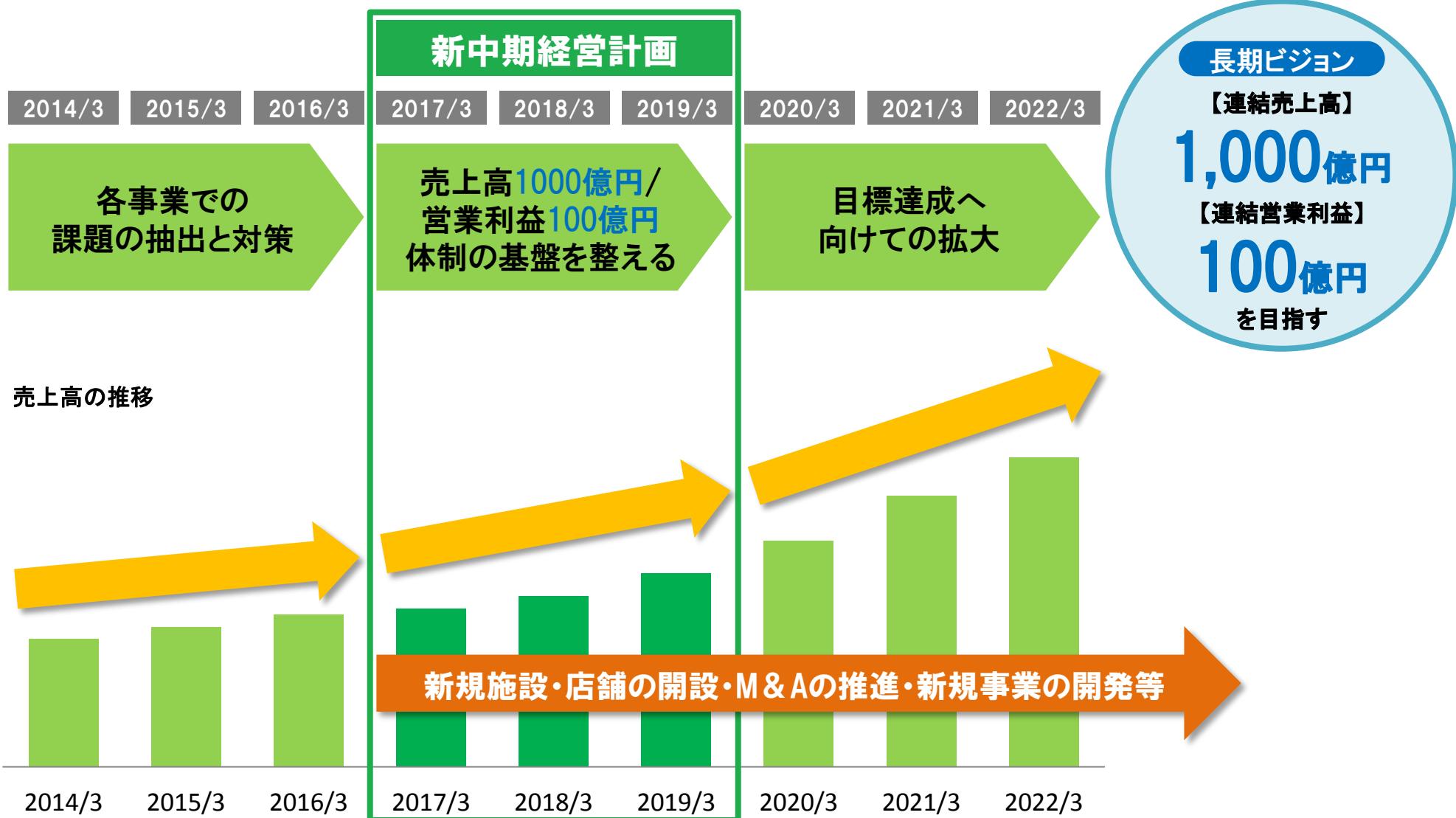
株主優待について

| ご対象株主様 | ご所有株式数 | ご優待内容 |
|-------------|--------|--------------------|
| 毎年3月31日の株主様 | 400株以上 | お米券 5kg分 (1kg券×5枚) |



III. 新中期経営計画の進捗状況

1. 新中期経営計画の位置づけ





2. 基本戦略

主要事業のバランスを重視した成長戦略の推進
～成長事業と安定収益事業のベストバランス～

成長の原動力

介護事業

1. 新規施設の開設強化
2. M&Aの推進
3. 産学官連携による
サービス品質の向上
4. 新規事業開発の推進

安定収益力

カラオケ事業

1. 新規出店の持続
2. 顧客の維持・拡大戦略

飲食事業

1. 既存店舗の強化
2. 海外展開の強化
3. 国内新規出店の検討



3. 各事業の取り組み ①新規施設の開設強化

| 戦略 ① | 戦略 ② | 戦略 ③ | 戦略 ④ | 戦略 ⑤ |
|-----------|------------|---------------|--------|---|
| 特定施設の積極展開 | グループホームの展開 | 放課後等デイサービスの展開 | M&Aの推進 | <ul style="list-style-type: none"> リハビリ特化型デイサービスの強化 住宅型施設等の強化 |

2017年3月期(下期) 開設計画 (トータル 178床、35名)

| | | | |
|-------------|-------------------------------|-------------------------------|------------|
| 2016年10月開設 | さわやかリバーサイド長岡 (新潟県長岡市) | 【公募】 介護付有料老人ホーム ショートステイ | 50床 20床 |
| 2016年10月合併 | さわやかグループホームあゆみ (岡山県岡山市) | 【M&A】 グループホーム | 18床 |
| 2016年10月合併 | さわやかデイサービスセンターあゆみ (岡山県岡山市) | 【M&A】 デイサービス | 10床 |
| 2016年11月開設 | さわやか愛の家むなかた館 (福岡県宗像市) | 放課後等デイサービス | 5名 |
| 2016年12月開設 | さわやかいなざわ館 (愛知県稻沢市) | 【公募】 介護付有料老人ホーム ショートステイ | 60床 20床 |
| 2016年12月開設 | さわやか愛の家のおがた館 (福岡県直方市) | 放課後等デイサービス | 10名 |
| 2016年12月開設 | さわやか愛の家あだち式番館 (福岡県北九州市) | 放課後等デイサービス | 10名 |
| 2017年1月開設予定 | さわやか愛の家さいだいじ館 (岡山県岡山市) | 放課後等デイサービス | 10名 |
| 2017年3月開設予定 | さわやか訪問看護ステーションいそだ (福岡県福岡市) | 訪問看護ステーション | — |

2018年3月期以降 開設計画 (トータル 498床)

| | | | |
|--------------|-----------------------------|-------------------------------|------------|
| 2017年4月開設予定 | さわやかシーサイドくきのうみ (福岡県北九州市) | 【公募】 介護付有料老人ホーム ショートステイ | 80床 10床 |
| 2017年9月開設予定 | (仮称)さわやか東大阪館 (大阪府東大阪市) | 【公募】 介護付有料老人ホーム ショートステイ | 94床 31床 |
| 2017年12月開設予定 | (仮称)さわやかあおい館 (静岡県静岡市) | 【公募】 介護付有料老人ホーム | 50床 |
| 開設時期 未定 | (仮称)さわやか熊谷館 (埼玉県熊谷市) | 【公募】 介護付有料老人ホーム | 54床 |
| 開設時期 未定 | (仮称)さわやか日高館 (埼玉県日高市) | 【公募】 介護付有料老人ホーム | 52床 |
| 開設時期 未定 | (仮称)さわやか浜松館 (静岡県浜松市) | 【公募】 介護付有料老人ホーム | 60床 |
| 開設時期 未定 | (仮称)さわやか相模原館 (神奈川県相模原市) | 【公募】 介護付有料老人ホーム | 67床 |

●●●●▶ 3. 各事業の取り組み ②M & A

- 「さわやかグループホームあゆみ」(岡山市)
- 「さわやかデイサービスセンターあゆみ」(岡山市) をM & Aにより取得

【介護業界の特徴と事業環境】

- 介護業界には業界内外の多くの事業者が参入し、競争が激化するとともに、サービス面や体制面で事業者間格差が生まれてきている
- 通常3年ごとに介護保険法の改正および介護報酬の改定が行われており、これに伴う対応が不可欠
- 介護サービスのほとんどにおいて、有資格者によるサービスが義務付けられており、介護市場の拡大に伴って有資格者に対する求人が増加し優秀な人材の確保が難しい状況が出てきている
- 介護施設立ち上げのための初期費用が、他の事業に比べて大きい

こうした状況から、経営不振に陥る介護施設が全国的に増加する傾向へ



【当社グループの基本方針】

施設が持つ潜在力を的確に見極め、当社グループの運営・管理ノウハウによって改善が見込まれる施設をM&Aにより取得



さわやかさかのいち館

●●●●▶ 3. 各事業の取り組み ③さわやか愛の家

■介護事業における新規事業の推進

障がい児通所支援事業 放課後等デイサービス 「さわやか愛の家」

- 障がいのある子どもたち（6～18歳）に対し、放課後や長期休暇中において療育の場を提供
⇒ 日常生活動作の指導、集団生活への適応訓練等
- レスパイトケア：ご家族に代わり一時的にケアを代替することで、日々の疲れ等をリフレッシュしていただく家族支援サービス



【当上期】 3施設を北九州市に開設



「さわやか愛の家 もじ館」
(2016年4月1日開設)



「さわやか愛の家 めいすい館」
(2016年7月1日開設)



「さわやか愛の家 なかい館」
(2016年9月1日開設)

【当下期】 展開エリア拡大



「さわやか愛の家 むなかた館」
(2016年11月1日開設)
※さわやか宗像館施設内

●●●●▶ 3. 各事業の取り組み ④訪問看護事業

■介護事業における新規事業の開発

2016年9月1日 北九州市にて開設

訪問看護事業 「さわやか訪問看護ステーション八幡」

(サービスの特徴とメリット)

- かかりつけの医師の指示に基づき、看護師がご家庭に訪問
- 病状や療養生活を看護の専門家の目で見守り適切な判断に基づいたケアとアドバイス
- 在宅での療養生活が送れるよう、24時間365日対応で支援
- 弊社住宅型有料老人ホーム等とのシナジー効果



※来年3月に「さわやか訪問看護ステーションいそだ」(福岡県福岡市)を開設予定

主な提供サービス

病状・障害の観察

日常生活の援助

ご家族への支援

医師の指示による
医療処置

認知症・精神疾患
のケア

ターミナルケア
(終末期ケア)

3. 各事業の取り組み ⑤カラオケ事業

戦 略

ドミナント化による地域一番戦略

→ 4大都市圏での出店

カラオケ事業
店舗数の推移

2015年3月末(実績)

99店舗

△3

2016年9月末(実績)

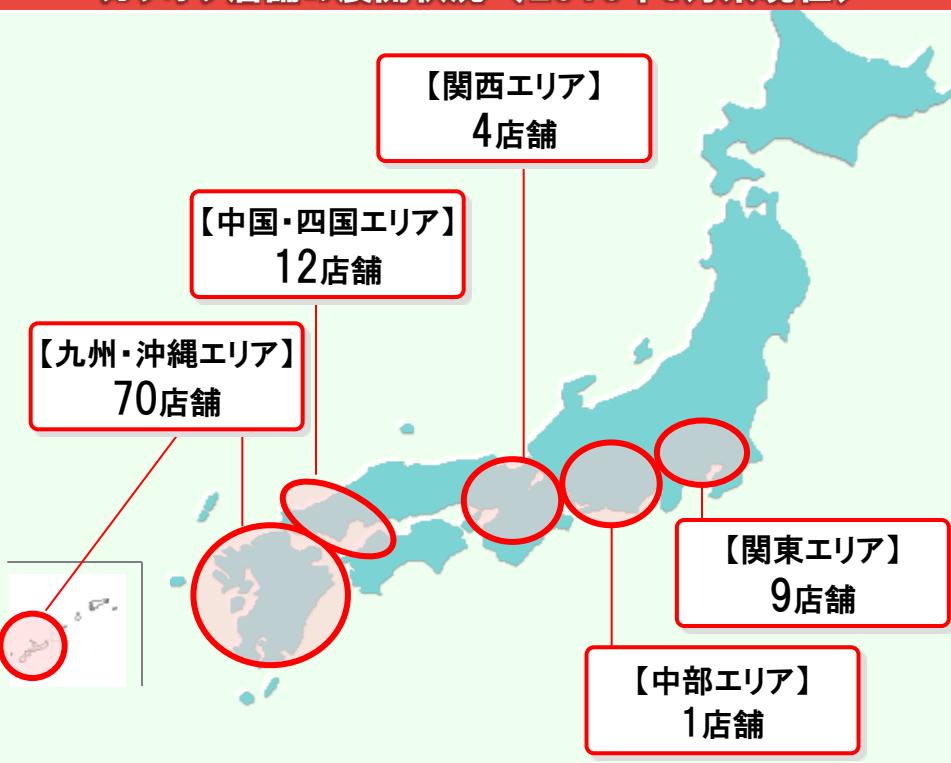
96店舗

±0

2017年3月末(見込み)

96店舗

カラオケ店舗の展開状況 (2016年9月末現在)



計画における契約済み店舗

2016年
11月オープン

コロッケ俱楽部住吉店
(福岡県 福岡市)

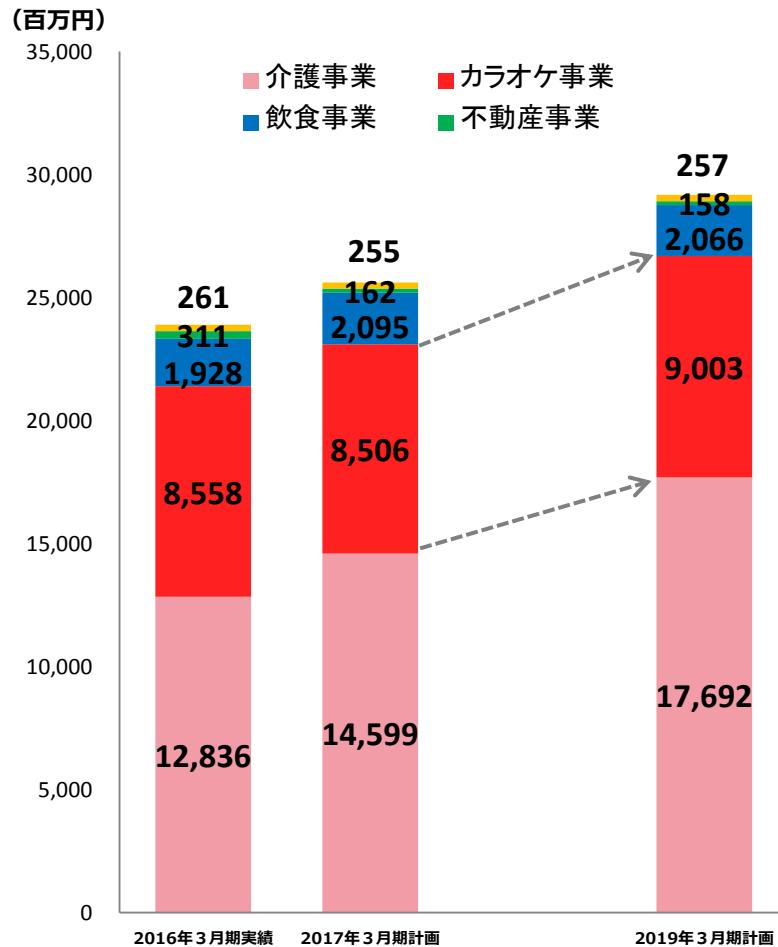
25室

今後の戦略ポイント

- ① 不採算店のスクラップ
- ② 既存店のリニューアル

●●●●▶ 4. 中期経営計画定量目標

■ 定量目標

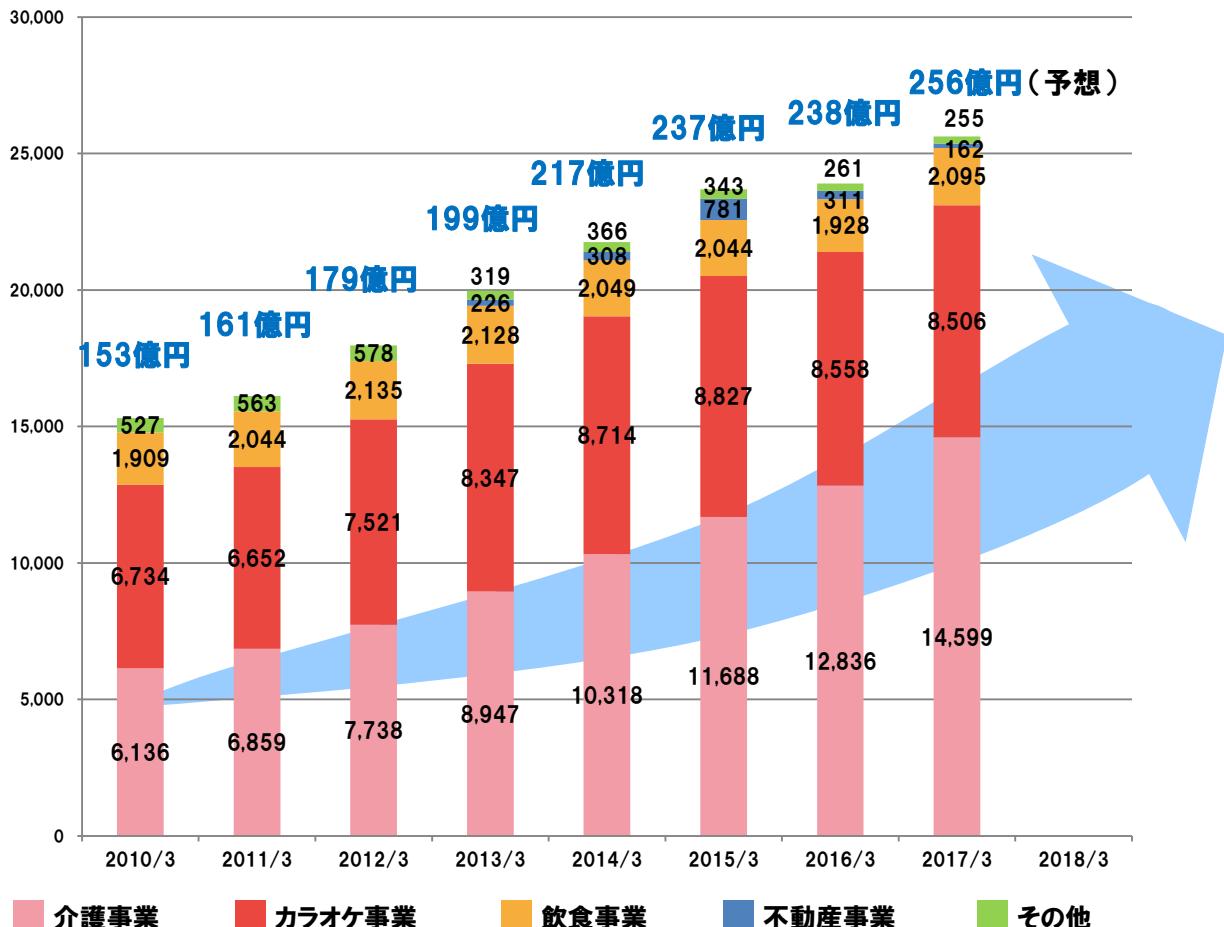


| | 2016/3 期 実績 | 2017/3 期 計画 | 2019/3 期 計画 |
|------------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 売上高 (百万円) | 23,897 | 25,618 | 29,178 |
| 営業利益 (百万円) | 128 | 898 | 1,160 |
| 親会社株主に 帰属する当期純利益 (百万円) | 983 | 614 | 698 |
| ROE (%) | 6.4 | 4.0 | 5.0以上 |
| 配当の方針 | 安定配当 10円/年 | 安定配当 10円/年 | 安定配当 10円/年 |

5. 長期ビジョン

■長期ビジョン

~介護・カラオケ事業で業界シェア5位以内の事業規模の創出へ~



長期ビジョン

【連結売上高】
1,000億円
【連結営業利益】
100億円
を目指す

ご清聴ありがとうございました



ウチヤマホールディングス
UCHIYAMA HOLDINGS





【参考資料】



1. 業績情報 ①要約損益計算書（連結）

(単位:百万円)

| | 2016/3 2Q累計 | 構成比 (%) | 2017/3 2Q累計 | 構成比 (%) | 前期比 (%) |
|----------------------|----------------|------------|----------------|------------|------------|
| 売上高 | 11,727 | 100 | 12,135 | 100 | 103.5 |
| 売上原価 | 10,854 | 92.6 | 11,067 | 91.2 | 102.0 |
| 売上総利益 | 872 | 7.4 | 1,068 | 8.8 | 122.5 |
| 販売費及び一般管理費 | 795 | 6.8 | 852 | 7.0 | 107.1 |
| 営業利益 | 76 | 0.6 | 216 | 1.8 | 282.1 |
| 営業外収益 | 156 | 1.3 | 203 | 1.7 | 130.4 |
| 営業外費用 | 72 | 0.6 | 69 | 0.6 | 96.2 |
| 経常利益 | 160 | 1.4 | 350 | 2.9 | 218.3 |
| 特別利益 | 557 | 4.7 | — | — | — |
| 特別損失 | 38 | 0.3 | 12 | 0.1 | 33.2 |
| 税金等調整前当期純利益 | 679 | 5.8 | 337 | 2.8 | 49.7 |
| 法人税等 | 236 | 2.0 | 129 | 1.1 | 54.9 |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 445 | 3.8 | 209 | 1.7 | 47.0 |



1. 業績情報 ②要約貸借対照表（連結）

(単位:百万円)

| 資産の部 | | | | 負債/純資産の部 | | | |
|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------------|---------------|---------------|--------------|
| | 2016/3 4Q末 | 2017/3 2Q末 | 増減額 (百万円) | | 2016/3 4Q末 | 2017/3 2Q末 | 増減額 (百万円) |
| 流動資産 | | | | 流動負債 | | | |
| 現金及び預金 | 14,098 | 13,161 | △ 937 | 短期借入金 | 6,432 | 6,091 | △ 341 |
| たな卸資産 | 9,771 | 9,013 | △ 758 | 1年以内返済予定の 長期借入金 | 819 | 625 | △ 194 |
| | 1,013 | 1,284 | 271 | | 2,371 | 2,265 | △ 106 |
| 固定資産 | | | | 固定負債 | | | |
| 有形固定資産 | 16,813 | 17,319 | 505 | 長期借入金 | 9,194 | 9,351 | 157 |
| 建物及び構築物(純額) | 11,955 | 12,452 | 497 | | 7,032 | 7,465 | 432 |
| 土地 | 7,494 | 7,724 | 230 | 負債合計 | 15,626 | 15,442 | △ 184 |
| | 3,346 | 3,521 | 175 | (有利子負債) | 11,834 | 11,644 | △ 190 |
| 無形固定資産 | | | | 純資産合計 | 15,285 | 15,038 | △ 247 |
| 投資その他の資産 | 55 | 52 | △ 2 | (自己資本比率) | 49.4 % | 49.3 % | △ 0.1pt |
| | 4,802 | 4,813 | 10 | (ネットD/Eレシオ) | 0.13 倍 | 0.17 倍 | 0.04pt |
| 資産合計 | 30,912 | 30,480 | △ 431 | 負債純資産合計 | 30,912 | 30,480 | △ 431 |

※1 有利子負債=短期借入金+1年内返済予定の長期借入金+設備未払金+1年内償還予定の社債+リース債務+長期借入金+長期設備未払金+社債

※2 自己資本比率=(株主資本+その他の包括利益累計額)/負債純資産合計

※3 ネットD/Eレシオ=(有利子負債-現金及び預金)/純資産合計



1. 業績情報 ③要約キャッシュ・フロー計算書（連結）

(単位:百万円)

| | 2016/3 2Q累計 | 2017/3 2Q累計 |
|----------------------------|----------------|----------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 641 | 575 |
| 減価償却費 | 679 | 337 |
| | 609 | 575 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | 123 | △ 1,267 |
| 有形固定資産の売却による収入 | △ 1,290 | △ 1,018 |
| | 1,639 | — |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 配当金の支払額 | △ 1,206 | △ 61 |
| | △ 108 | △ 99 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △ 440 | △ 758 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 11,007 | 9,301 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 10,566 | 8,542 |

●●●●▶ 2. 事業別の状況 ①介護事業 サマリー

(単位:百万円)

| | 2016/3 2Q累計 | 2017/3 2Q累計 | 増減 |
|----------|----------------|----------------|----------|
| 売上高 | 6,216 | 7,039 | 13.2% |
| セグメント利益 | 266 | 509 | 91.0% |
| セグメント利益率 | 4.3% | 7.2% | 2.9point |

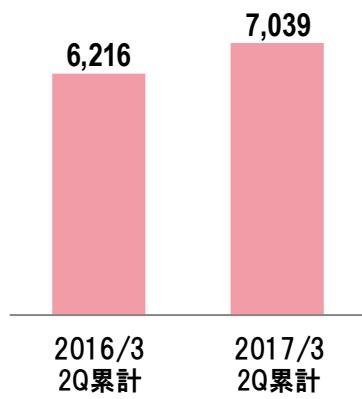


さわやかグループホームむろらん
(北海道室蘭市)

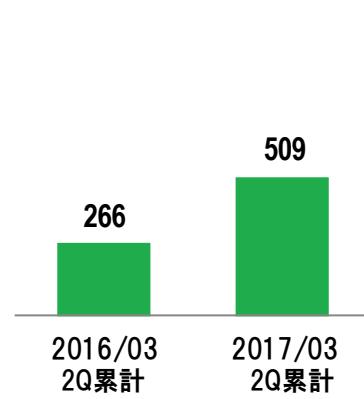


さわやか愛の家なかい館
(福岡県北九州市)

売上高(百万円)



セグメント利益(百万円)



- 放課後等デイサービス3カ所、新規事業となる訪問看護ステーションを9月に開設。営業拠点は、75ヶ所141事業所。
- 近隣の病院や居宅介護支援事業所との連携強化を推進し、介護付有料老人ホームの既存施設は入居率93.0%を確保(2016年4~9月平均)

| | | | |
|---------------|-------------------------------|-----------------|-----|
| 2016年 4月開設 | さわやか愛の家もじ館 (福岡県北九州市) | 放課後等デイサービス | 10名 |
| 2016年 7月開設 | さわやか愛の家めいすい館 (福岡県北九州市) | 放課後等デイサービス | 10名 |
| 2016年 7月開設 | さわやかグループホームむろらん (北海道室蘭市) | 【公募】 グループホーム | 18床 |
| 2016年 9月開設 | さわやか訪問看護ステーション八幡 (福岡県北九州市) | 訪問看護 | — |
| 2016年 9月開設 | さわやか愛の家なかい館 (福岡県北九州市) | 放課後等デイサービス | 10名 |

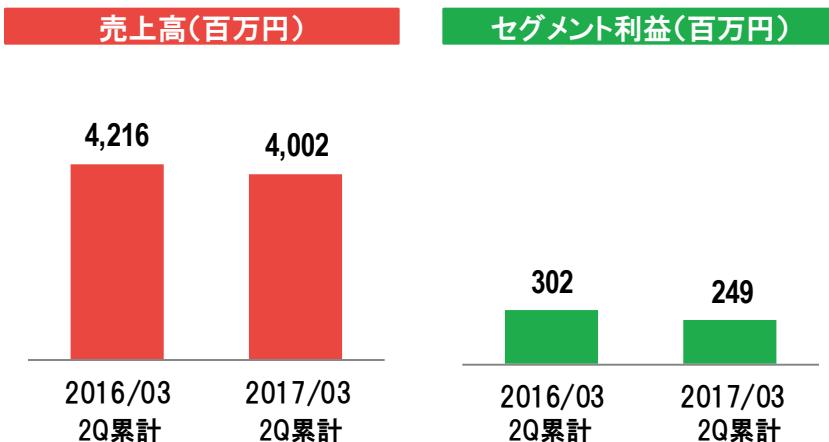
※入居率=入居人数÷ベット数、開設1年以上経過した施設のみで計算



2. 事業別の状況 ②カラオケ事業 サマリー

(単位:百万円)

| | 2016/3 2Q累計 | 2017/3 2Q累計 | 増減 |
|----------|----------------|----------------|------------|
| 売上高 | 4,216 | 4,002 | △ 5.1% |
| セグメント利益 | 302 | 249 | △ 17.5% |
| セグメント利益率 | 7.2% | 6.2% | △ 1.0point |



- 飲み放題コースなどの獲得強化、スマートフォン向けアプリを活用し、モバイル会員のリピート客の増加、ウェブサイトを活用した集客向上に努める。
- 4月に発生した熊本地震により、同県内の3店舗が1週間程度休業することになったほか、九州全般での地域で集客が減少傾向となった。

カラオケ事業の展開状況 合計96店舗 (2016年9月末現在)



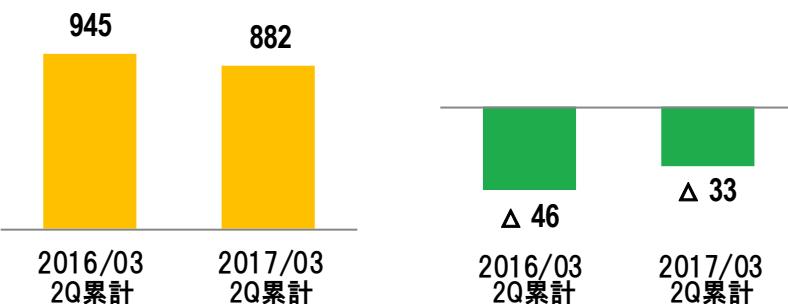
●●●●▶ 2. 事業別の状況 ③飲食事業 サマリー

(単位:百万円)

| | 2016/3 2Q累計 | 2017/3 2Q累計 | 増減 |
|----------|----------------|----------------|--------|
| 売上高 | 945 | 882 | △ 6.7% |
| セグメント利益 | △ 46 | △ 33 | — |
| セグメント利益率 | — | — | — |

売上高(百万円)

セグメント利益(百万円)



- 既存店2店舗の業態を変更、新規出店を1店舗。
- タイムサービスの実施による集客の増加をはかったほか、法人顧客の宴会需要等の獲得に努める。
- 熊本地震により、1店舗が1週間程度休業となる。



鳥くらぶ 直方店
(福岡県直方市)



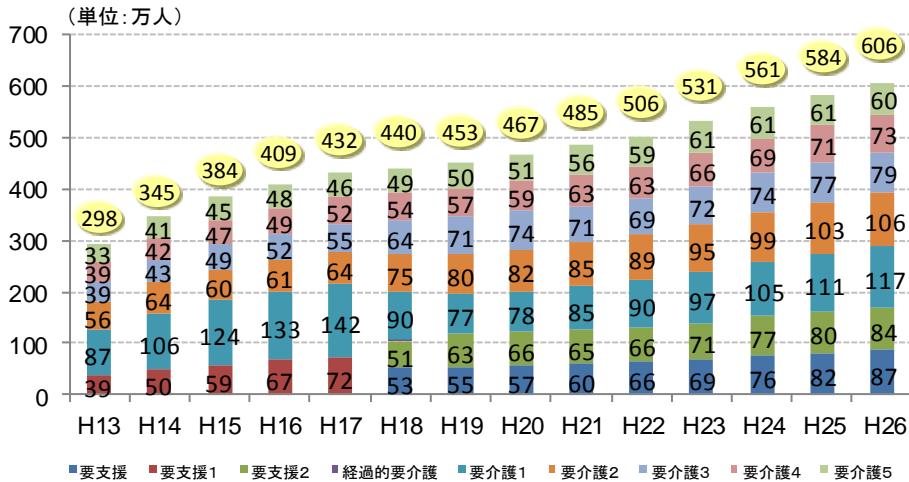
かんてきや 大分本店
(大分県大分市)

| | | |
|----------------------|------------------------|------|
| 【業態変更】 2016年4月14日 | 鳥くらぶ 直方店 (福岡県直方市) | 50席 |
| 【新規出店】 2016年7月26日 | かんてきや 大分本店 (大分県大分市) | 129席 |
| 【業態変更】 2016年7月28日 | 鳥くらぶ 香春店 (福岡県香春町) | 130席 |

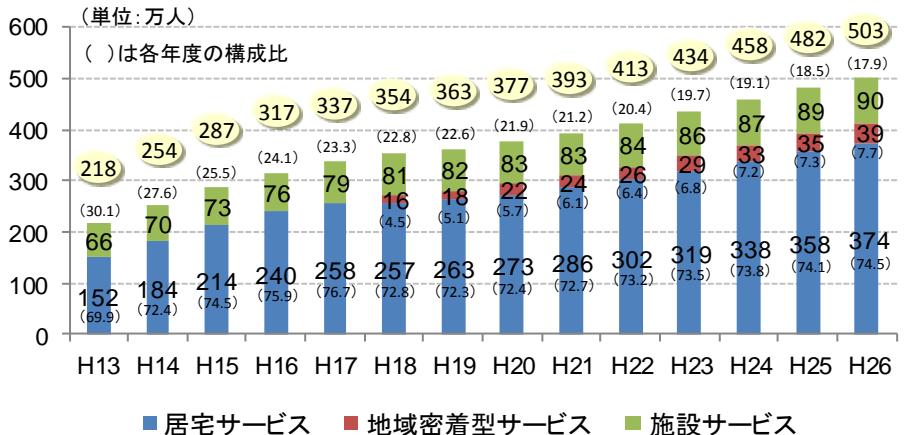


3. 業界動向 ①介護市場の動向(1)

要介護(要支援)認定者数



介護サービス受給者数(1ヶ月平均)



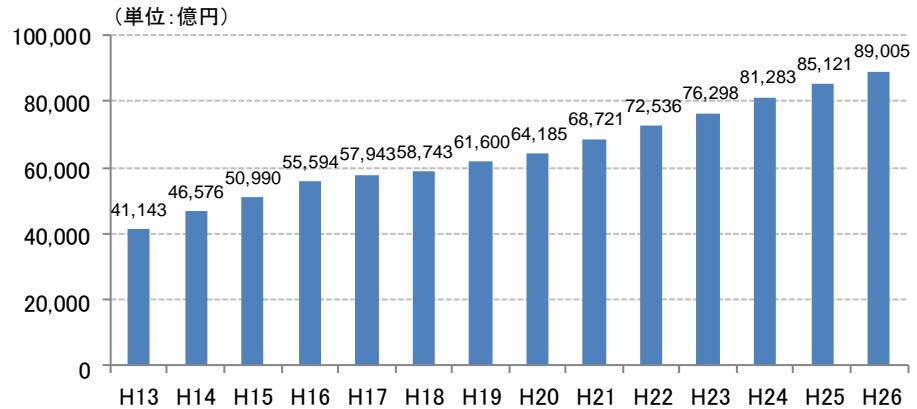
(注1)各年度とも3月から2月サービス分の平均。ただし平成12年度は、4月から2月サービス分の平均。

(注2)平成18年度の地域密着型サービスについては、4月から2月サービス分の平均。

(注3)受給者数は、居宅サービス、地域密着型サービス、施設サービス間の重複利用がある。

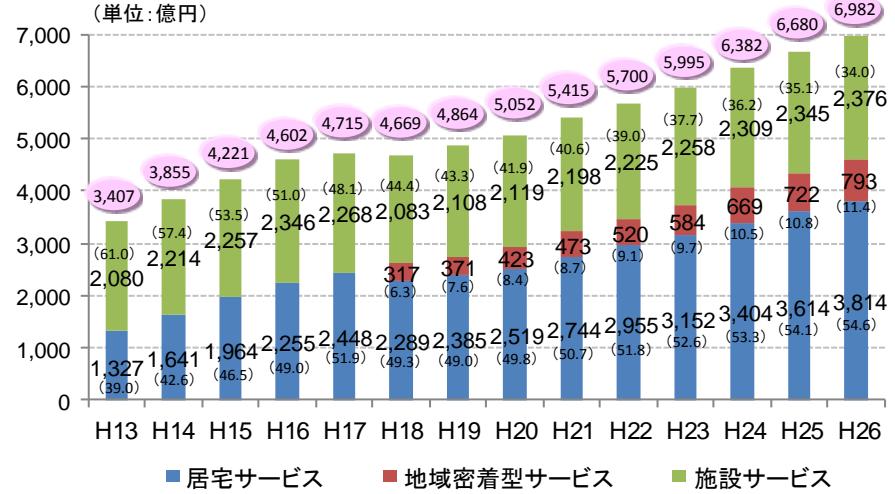
(出所) 厚生労働省「介護保険事業状況報告(平成26年度版)」※東日本大震災の影響により、H22はすべて福島県内5町1村の数値が含まれていない

(参考1)年度別介護サービス給付費の推移



(注1)特定入所者介護サービス費、高額介護サービス費、高額医療合算介護サービス費を含む。

(参考2)年度別(居宅、地域密着、施設別)介護サービス給付費の推移



(注1)グラフの数値は各年度における月平均値。()は各年度の構成比。

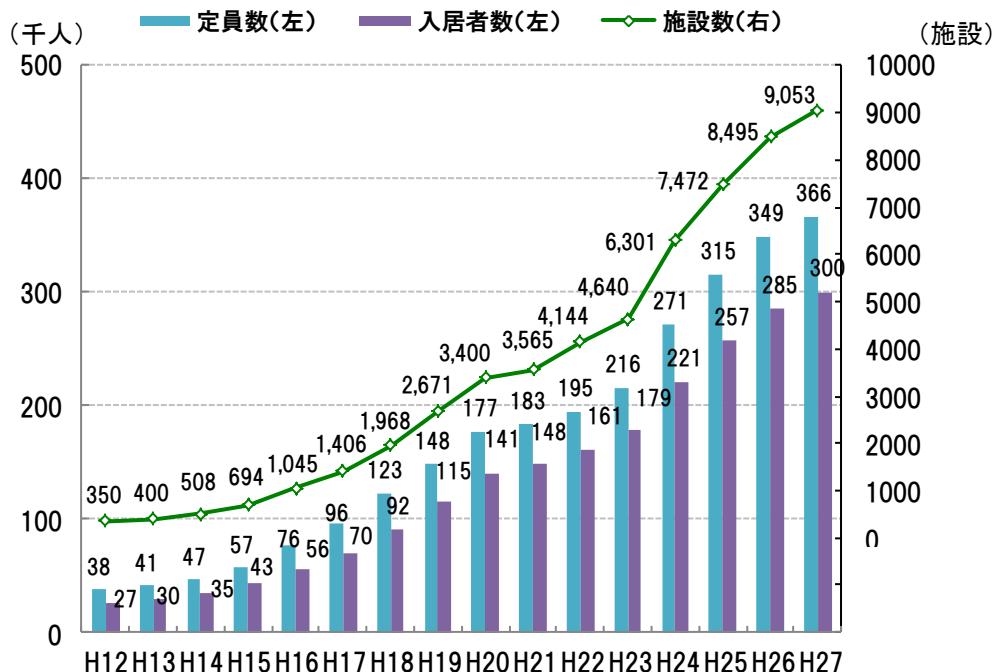
(注2)特定入所者介護サービス費、高額介護サービス費、高額医療合算介護サービス費を含まない。



3. 業界動向 ①介護市場の動向(2)

介護保険法施行(2000年)後、
急拡大を続けてきた有料老人
ホーム市場は、引き続き堅調に拡大

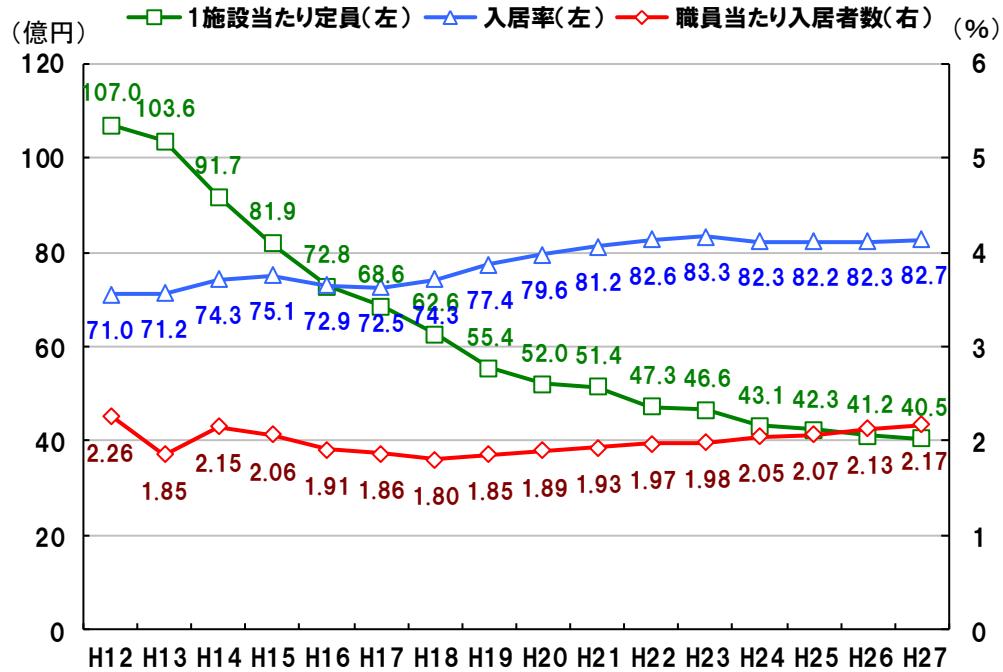
有料老人ホーム市場の推移①



※各年10月1日現在
(出所) 厚生労働省「平成27年度社会福祉施設等調査」

施設規模は縮小傾向にある一方、
人員効率は緩やかに改善

有料老人ホーム市場の推移②



※職員当たり入居者数=入居者数／常勤換算職員数
(出所) 厚生労働省「平成27年度社会福祉施設等調査」



3. 業界動向 ①介護市場の動向(3)

- 参酌標準が撤廃され、各地域の自治体での介護施設策定計画の自由度が増加
- 各地域の自治体の実情に応じた基盤整備が進んでいくと想定

平成18年4月 介護保険法の改正

- ⇒各自治体が**特定施設の新規開設を制限することが可能に**
- ⇒新規開設を制限する際の根拠として、**参酌標準が使用される**



平成22年 行政刷新会議

- ⇒参酌標準の平成24年度からの撤廃を決定



各地域の自治体が地域の実情に応じて特別養護老人ホーム等の介護施設を整備可能

- ⇒各地域の実情に応じた基盤整備が進んでいくと想定
- ⇒市町村との繋がりを密にし、公募等情報の適時把握が肝要

(特定施設とは)

都道府県から「特定施設入居者生活介護」の指定を受けて、以下に入居された利用者に介護サービスを提供する事業所を指す。

- 1.有料老人ホーム
- 2.養護老人ホーム
- 3.軽費老人ホーム(ケアハウス)
- 4.サービス付き高齢者向け住宅

(参酌標準とは)

各市町村が介護保険事業計画を策定する際に、各種サービス見込み量を定めるに当たり参酌すべきものとして、厚生労働大臣が示す目安。

具体的には、「介護保険三施設、グループホーム、介護専用型特定施設の利用者数を、要介護2～5の高齢者数の37%以下とする」というもの。

第5期介護保険事業計画期間(平成24～26年度)から撤廃される。



3. 業界動向 ①介護市場の動向(4)

※青字は当社の事業領域

| 対象 | 都道府県が指定・監督 | 市町村が指定・監督 |
|--------------------|---|---|
| 介護給付サービス 要介護1・5 | <p>◆居宅サービス</p> <p>【訪問サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○訪問介護(ホームヘルプサービス) ○訪問入浴介護 ○訪問看護 ○訪問リハビリテーション ○居宅療養管理指導 <p>○特定施設入居者生活介護</p> <p>○特定福祉用具販売</p> <p>◆居宅介護支援</p> <p>◆施設サービス</p> <p>○介護老人福祉施設(特養)</p> <p>○介護老人保健施設</p> <p>○介護療養型医療施設</p> | <p>◆地域密着型サービス</p> <p>○夜間対応型訪問介護</p> <p>○認知症対応型通所介護</p> <p>○小規模多機能型居宅介護</p> <p>○認知症対応型共同生活介護(グループホーム)</p> <p>○地域密着型特定施設入居者生活介護</p> <p>○地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護</p> |
| 予防給付サービス 要支援1・2 | <p>◆介護予防サービス</p> <p>【訪問サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護予防訪問介護(ホームヘルプサービス) ○介護予防訪問入浴介護 ○介護予防訪問看護 ○介護予防訪問リハビリテーション ○介護予防居宅療養管理指導 <p>○介護予防特定施設入居者生活介護</p> <p>○介護予防特定福祉用具販売</p> <p>◆介護予防通所サービス</p> <p>○介護予防通所介護(デイサービス)</p> <p>○介護予防通所リハビリテーション</p> <p>【短期入所サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護予防短期入居生活介護(ショートステイ) ○介護予防短期入所療養介護 <p>○介護予防福祉用具貸与</p> | <p>◆地域密着型介護予防サービス</p> <p>○介護予防認知症対応型通所介護</p> <p>○介護予防小規模多機能型居宅介護</p> <p>○介護予防認知症対応型 共同生活介護(グループホーム)</p> <p>◆介護予防支援</p> |

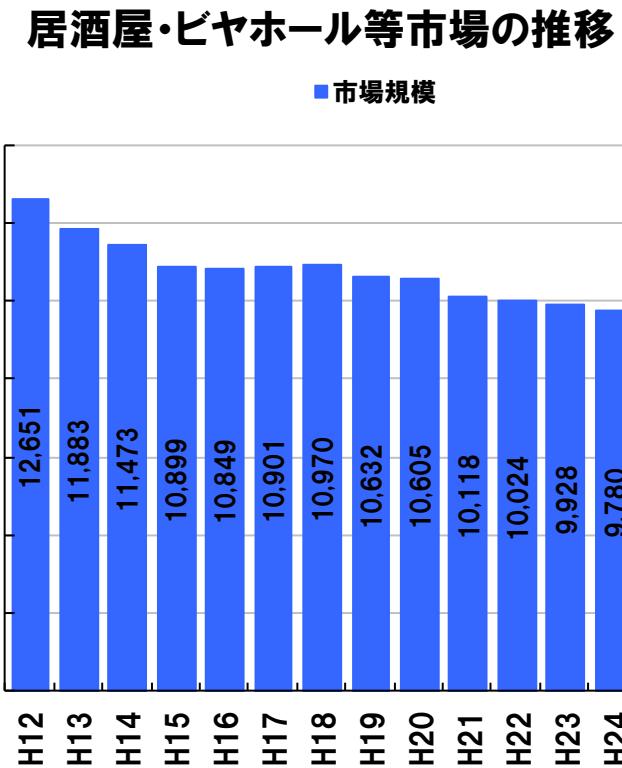
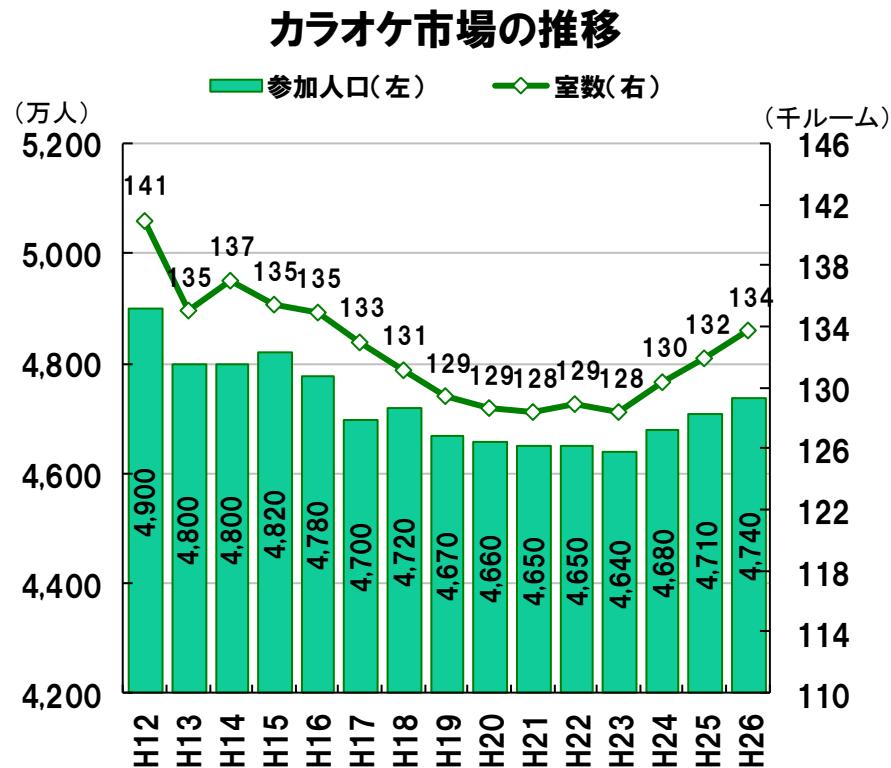


3. 業界動向 ①介護市場の動向(5)

| | 施設・事業所の概要 | 特定施設の指定の有無 |
|---------------------------|---|-----------------|
| | | 介護サービス提供主体 |
| 介護付 有料老人ホーム | 介護が必要になっても、入居施設が提供する介護サービス等を利用しながら居住継続が可能。 | ○(特定施設) |
| | | 施設内の職員 |
| 住宅型 有料老人ホーム | 生活支援等のサービスが付いた高齢者向けの居住施設。施設内に介護提供体制を整備する義務はない。 | ×(特定施設でない) |
| | | 外部の介護サービスを自身で選択 |
| 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム) | 認知症などの高齢者が一般の住宅で地域社会に溶け込みながら生活することを目的とする。 | |
| 短期入所生活介護 (ショートステイ) | 介護を受ける高齢者が短期間入所し、食事や入浴といった日常生活全般の介護、機能訓練などを提供。 | |
| 通所介護 (デイサービス) | 在宅での介護を必要とされる高齢者を対象に入浴や体操・レクリエーションなどの各種サービスを提供し、自立を支援する。 | |
| 訪問介護 (ヘルパーサービス) | ホームヘルパーが自宅に伺って、介護を必要とされる方の日常生活の手伝いを行う。 | |
| 居宅介護支援 (ケアプラン作成) | どのような介護サービスをいつ、どのくらい利用するのが良いか、高齢者にとって最適となるケアプランを作成。 | |
| 小規模多機能型 居宅介護 | 「通い」を中心に、要介護者の様態や希望に応じて「訪問」や「泊まり」を柔軟に組み合わせ、介護度が中重度となっても在宅での生活が継続できるように支援していくサービス。 | |
| 福祉用具サービス | 高齢者の身体状況や住宅環境に合わせ、自立支援をサポートするための福祉用具をレンタルおよび販売にて提供。 | |

3. 業界動向 ②カラオケ・飲食市場の動向

カラオケ市場・飲食市場ともに、市場規模の拡大は期待できない
⇒既存エリアでのドミナント化を推進



(出所) 全国カラオケ事業者協会「カラオケ白書2015」

(出所) 外食産業総合調査研究センター
「平成26年外食産業市場規模推計について」